

No.176

TOPICS

特別表彰
議案審議
一般質問
議決結果
議会の動き

4
14 13 12 3 2

あなたと議会を結ぶ 議会だより





特別表彰を受けてメッセージ

知名町議会議長 外山利章

日頃より、町民の皆さまには、知名町議会の活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、知名町議会が「全国町村議会議長会特別表彰」を受賞いたしました。この栄えある表彰は、これまで先人たちが築き上げてきた知名町議会の伝統に加え、大きく変動する時代に対応するために取り組んできた議会改革の努力が評価されたものです。

当初は手探りの状態で始まった議会改革でしたが、議会としての存在意義を活動の中で確かめながら、全議員が認識を深め、議会事務局とも連携・協力し、一丸となって積み重ねてきた歩みが、今回の成果へとつながりました。

特に、これまでの監視機能に加え、住民の声を起点として地域課題を政策提言へとつなげる「政策サイクル」の構築は、議会の新たな役割を共有する重要な契機となりました。

さらに、持続可能な地域の担い手を確保するため、各種団体との意見交換や「女性議会」開催のサポートにも取り組み、多様な視点を議会に取り入れる機運を高めてまいりました。

こうした取り組みの積み重ねが、昨年、知名町初の女性議員誕生という成果にも結びついています。

私たち議会は、今回の受賞を誇りに思うとともに、あくまでも一つの通過点として受け止めています。

今後も時代の変化に柔軟に対応しながら、新たな議会の形を模索し、議会改革をさらに進めてまいります。

そして、二元代表制の一翼を担う議会として、町政と健全な緊張関係を保ちつつも連携し町民の皆さまが「知名町に住んでよかった」と実感できるまちづくりに貢献してまいります。

これからも、町民の皆さまの声に真摯に耳を傾けながら、より開かれた議会を目指して取り組んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

全国町村議会議長会 特別表彰

令和7年2月5日東京都で開催された全国町村議会議長会第76回定期総会に於いて町村議会特別表彰を受けました。この表彰は町村議会として他の範とするに足りると認められる団体に都道府県町村議会議長会の会長からの推薦に基づき、全国町村議会議長会に設置する表彰審査会で審査し、表彰するものです。今年度は各都道府県から推薦された23町村議会について審査し知名町議会を含め3議会が特別表彰、20議会が表彰を受けました。

本議会における政策サイクルを意識した議会改革の取り組み、各常任委員会が町長に提出した政策提言書などが評価され特別表彰を受賞しました。

今後も町民福祉の向上、安心安全な街づくりを目指して議会改革の更なる推進を議員、議会事務局一丸となって取り組んでまいります。

知名町議会以外の特別表彰

北海道下川町議会
神奈川県寒川町議会

政策提言を問う——議会での議論から

議案第35号 令和7年度知名町一般会計当初予算審査において昨年、令和6年6月定例会で総務文教常任委員会が提出した未就学児支援の充実と経済建設常任委員会が提出した新規就農者支援の政策提言について質疑を行いました。

総務文教常任委員会 未就学児支援の充実について

福川議員 政策提言書に職員数を十分確保し待機児童の発生防止と職員の待遇改善に努めることとあるが、認定こども園の令和6年度、7年度の職員と会計年度任用職員と園児の数を示してください。

子育て支援課長 園児の数は令和6年度130名、令和7年度125名を見込んでいる。令和7年度の会計年度任用職員の数は減る見込み。

総務課長 令和7年3月1日現在、すまいるの会計年度任用職員は23名、令和7年1月1日現在の正職員はすまいる20名、きらきが6名です。

根釜議員 公私連携田皆認定こども園費が減額となっているが協定を結んだ職員数は維持できているか、今年度の入所見込みと前年度の比較を示してください。

子育て支援課長 園児数は現在29名で民営後も現在在園している園児はそのままです。職員については保育で10名、調理員の数も確保できている。



経済建設常任委員会 新規就農者支援について

田尻議員 農業未来バンク事業を新規事業で設置して頂いた。提案として機械、牛舎、ハウス、倉庫が入っていたが農地の流動化事業補助金となっている。農地だけか。

農林課長 一定の条件下で農地を貸し出す者に対し補助金を交付することで新規就農者等への農地の流動化を促進します。また、賃借や売買等を目的とした農業機械や倉庫などの物件を紹介するプラットフォームの運用も検討し、これらの取組みにより農地、農業機械等の流動化を図っていきます。

田尻議員 地域計画の中で農地の流動化が進めば、町全体として担い手の確保が可能になる。しかし、実際には農地を貸し出たくないという声もあり、それを考慮する必要がある。そのため、町全体の地域計画として進めていくことが求められる。そこを考慮して要請して終わります。





12月の知名町長選挙、3期目の出馬は

町長／町民福祉の向上に改革を強力に進める為、覚悟を持って立候補する

福井 源乃介 議員



動画配信はこちら

水道水の硬度低減化について

【問】水道水の硬度低減化は、令和9年度から硬度100前後の軟水を給配水する計画。財源を確保して計画通りに実現できますか。

【答／町長】原材料費等の高騰で事業費増の懸念もあるが、新浄水場の詳細設計も今年度に完成し、詳細設計に基づき発注業務を行い実現させる。

【問】水道料金の改訂に向けての考えはどうなっていますか。

【答／町長】新浄水場の詳細設計終了後に事業費確定の上、令和7年度から8年度にかけて動力費や薬品費等のランニングコストの見直しを行いながら、財政状況を勘案し、知名町上下水道事業運営委員会や議会、住民説明会等を行い、令和9年度から令和10年度から料金改定を計画している。

旧役場庁舎跡地の再開発について

【問】旧役場庁舎跡地に、賑わいの拠点作りを早急に進めなければなりません。旧役場庁舎跡地の再開発について、どのように考えていますか。

【答／町長】国土交通省の「官民連携支援事業」において、町の遊休施設を官民連携でどのような方法でどういった利活用ができるかを調査している。今年度、島内外の事業者とヒアリングや現地ツアーを行い、最終の調査報告書をまとめている。来年度以降、本調査結果を基に、旧役場庁舎跡地の利用・運用方法と併せて実施に向けた検討を進めていく。

島留学制度の拡充について

【問】島留学制度（生活支援金の増額や適用期間の拡大等）の拡充は。

【答／教育長】今年度から1世帯あたり3万円の助成金を1児童あたり3万円の継続希望世帯に対して、初年度を含め最長3年間留学期間の更新ができる。また、月額1万円を

上限に家賃の2分の1を補助する制度を新設した。令和7年度は、新規3世帯4名と継続希望1世帯2名の4世帯6名を予定している。

芭蕉布工房の存続について

【問】芭蕉布の保存・継承のため、芭蕉布工房の存続については。

【答／町長】本年2月10日に長谷川氏と親族が来庁し、芭蕉布工房と糸芭蕉植栽地の本町への無償譲渡・移管に関する申し出についてヒアリングを行った。「奄美の芭蕉布」という鹿児島県の伝統的工芸品の保存・継承が喫緊の課題となっている現状を踏まえ、町として関係者間で芭蕉布工房の未来像や保存・継承の具体的な方策、地域産業としての発展可能性について十分な協議をしていく。



奄美の芭蕉布（県指定の伝統的工芸品）





屋内遊び場の設置について

町長／現時点で方向性は決まっております

田尻 博樹 議員



動画配信はこちら

【問】令和3年4月に子育て支援拠点に「そら・SORA」が開所し、現在子育て広場及び一時預かり事業の利用が増えている。また子どもたちは近年の異常気象等により屋外で遊ぶ機会が少なくなっている中で、全国的にも「屋内遊び場」が広がっている。そこで本町についても田水団地建替えと並行して、子育て支援拠点「そら・SORA」を移転し、「屋内遊び場」の整備ができないか伺う。

【答／町長】これまで町が実施してきたアンケートなどでも要望をいただいておりますが、現時点で方向性は決まっております。また、田水団地建替えにつきましては、空きスペースができた場合、その活用方法につきましては、関係者で協議し決定することとなります。その中で、今回いただいた内容についても活用方法の一つとして協議を行なっていきたいと考えております。また「そら・SORA」については、利用者の皆様に大変ご好評を頂いております。今後継続してご利用いただけます。

るよう、必要な整備等について協議を進めてまいりたいと思います。



旧庁舎前のガジュマルについて

【問】町木でもある旧庁舎前のガジュマルの保存について町はどの様に考えているのか伺う。

【答／町長】ガジュマルは昭和57年2月に町木に制定され、当時の日吉町長が就任した後年度に植樹されたもので、特別、記念に植樹されたものではないと伺っております。旧庁舎の跡地利用の検討の中で、対応方法を考えてまいりたいと思います。

農業振興について

【問】枝豆をはじめ2期作・2毛作には現在どのような品目が栽培されているのか。また今後検討している品目があるのか伺う。

【答／町長】2期作・2毛作については、栽培スケジュール管理の難しさなどデメリットがあるものの、農地の有効活用、生産量及び収入の増加に繋がるメリットもありますので、農業経営の安定のため、栽培品目や農地の状況などを見ながら推進してまいります。



防災ラジオについて

【問】現在の防災ラジオは、聞きにくいや音量の調整ができないなど、多くの不具合があると聞くが更新の計画はないのか伺う。

【答／町長】防災ラジオについては、令和7年度・8年度の2ケ年で、町内全世帯を対象に戸別受信機へ更新する見込みです。





農業立町知名町の将来の農業を支える新規就農者へ支援を 町長／新規就農者の農業経営の確立と地域への定着

西 文男 議員



動画配信はこちら

農業振興について

【問】新規就農者の農業経営確立と地域への定着のため、新規就農者総合対策事業等を何名の方が給付を受けたか伺う。

【答／町長】平成24年から令和7年2月現在、45名が支援を受け、現在給付中は12名です。

【問】新規就農者育成総合対策事業を利用し、農業経営を行った農業者と事業についての意見交換等は行っているか伺う。

【答／農林課長】収納状況報告を年1回行って意見交換会をしている。事業終了後も。

【問】現在新規就農者育成事業を受けている就農者で規模拡大のため、農地の賃借を希望しているが、借りられる農地が少ないと声がある。町はどのような対策をしているか伺う。

【答／農林課長】農地については、地域の農業委員、区長さんに斡旋するように話をしているが、実際に

は今、希望の農地の賃借には至っていない。

【再質問】今後は町の中の遊休農地等の有効利用を含め、農林課、耕地課、農業委員会で情報共有をして新規就農者への農地斡旋は出来ないか伺う。

【答／農林課長】今後情報共有を含めて、新規就農者へ農地斡旋が出来ないか協議をしたいと考えている。



さとうきび収穫後の圃場

町営住宅の建設について

【問】今後各集落への町営住宅の計画はどうなっているか伺う。

【答／町長】知名町公営住宅等長寿命化計画に基づき既存住宅の改修工事、田水団地の建て替えを行う計画となっています。

【問】正名字に3棟の若者定住住宅が建っています。その敷地に空き地となっている土地に若者定住住宅を建設できないか伺う。

【答／建設課長】正名字住宅建設につきましては当該計画に含まれていない。



若者定住住宅内の空き地

【問】新規の若者定住建設の計画に載せるためには、どうしたらいいか伺う。

【答／建設課長】次期計画で各地域からの要望等もありますので、人口推移、住宅需要、財政状況等総合的に勘案し、検討していきます。

【再質問】正名字は25年前の人口と比較しても減少幅が少なく、多くの青壮年団の方々がUターンで帰ってきて住宅が不足しています。是非新規計画に入れるように要請する。



若者定住住宅



コメの不足と高騰について

町長／国の備蓄米放出等による対策が功を奏し、供給が安定するのを期待している

町としてこの現状をどうとらえているか伺う

長山 美香 議員



動画配信はこちら

【問】こども園においてコメの入手はできているか。給食資材高騰により保育料の値上げはあるのか。

【答／子育て支援課長】コメ不足によりコメが入手できなかったことはない。現在のところ保育料の値上げの話もない。

【問】学校給食において支障をきたしていないか。給食費の値上げはあるのか。

【答／給食センター長】現時点では通常通り納品ができる見込み、また令和七年度よりコメの価格は上がるものの給食費は据え置かれる。

【問】今のところ現場の努力で何とかなっているという感があるが、国は国民の生活のあらゆる側面において必要な措置を講ずる責務があり、主食であるコメ不足はとても深刻な問題。国民の一番身近な存在である地方公共団体・町にも当然その責務があると考えるが、困窮者や低所得者への支援は考えているか。

【答／町長】一つの町で物価高騰への対策をしていくには限りがある。群

島全体で国・県にコロナ対策の時のような交付金を要望していく。

【問】大阪府の泉大津市のようなサプライチェーンの取り組みを見本に稲作をおこなっている自治体と連携し、コメと知名町の特産品で共存共栄を図るという取り組みはどうか。また、身土不二という言葉があるが、田んぼがなくてもできる陸稲を奄美群島振興開発事業など利用し、試験栽培できないか。

【答／農林課長】もし本町で取り組みとなれば、水稻をどのように作っていくかというような取り組みになると思う。



泉大津市サプライチェーンの取り組み図(泉大津市HPより)



小売店の米棚の様子

方言の無形文化財指定について

【問】方言は地域文化の象徴的存在として、また地域社会の基盤や精神的支柱、アイデンティティの形成に大きな役割を果たしています。しかし、ユネスコ（国連教育科学文化機関）が平成21年に発表した消滅の危険がある言語の中には、沖永良部の方言、国頭語も含まれています。方言を守り続けるためにも町無形文化財に指定できないか。

【答／教育長】文化財保護条例にて「無形文化財を指定文化財として指定しようとするときは、保持者又は保護団体を確認しなければならない」とあるため、言語・方言の単体での指定は制度上難しいと考える。

【問】指定は難しいが、文化財としての価値はあると考えているか。

【答／教育委員会事務

局参事】文化財としては該当するのではないかと考える。

【問】指定は難しいが、文化財としての価値はありと受け止めたが、方言の保存と継承において大切なことは子どもたちが日常会話で方言を使用するかどうかにかかってくるが具体的な方策はあるか。

【答／教育長】子どもたちに方言のシャワーをたくさん浴びせていく、そのために島ムニ継承推進協議会を立ち上げたので、協議していきたい。

航空機の遅延・欠航について

【問】遅延・欠航が多く、町民生活や観光・ビジネスに支障をきたしている、町として対策をおこなっているか。

【答】鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会において、生活路線としての役割も鑑み、島民に支障のないよう適切に対応頂くよう要請している。





大津勘比ーチロック前のサイクリング道路の整備は

町長／環境省の意見を検討する

窪田 仁 議員



動画配信はこちら

畑灌整備について

【問】①20年前に畑灌整備が終わった地区に新たに給水栓の整備を。

【答／町長】一定規模の面積が必要、検討時期も含め整備へ向け進めてまいります。

【問】②農家の高齢化に伴い、埋設型のスプリンクラー整備を。

【答／町長】一定規模の面積が必要、県と相談し更新整備へ向け進めてまいります。

農業振興について

【問】①令和6年度、現在の農畜産物の販売高状況はどうか。

【答／町長】サトウキビは、低糖度も懸念されましたが、2月20日累計で13・95度、両町で9万5,567トン、上方修正がされた。パレイシヨはキロ当たりの手取り200円を超す価格で推移。豆類等その他品目も価格帯は順調に推移、畜産については、前年5月からの平均で約424千円、単価が回復するよう

う期待。花きは、高単価で推移している。

【問】②農地の有効利用の推進について2毛作の推進状況はどうか。

【答／町長】生産量及び収入の増加につながり、メリットが大きい。今後、推進してまいります。



収穫されたパレイシヨ

国立公園内の整備は

【問】①国立公園内の大津勘墓地の除外許可申請について、役場で許可申請を効率的に行えないか。

【答／町長】除外する必要性を環境省へ提出する。書類等の作成サポートは可能です。



ビーチロック前のサイクリングロード

【問】②県指定天然記念物の大津勘のビーチロックは、高波時にビーチの砂がサイクリングロードを埋めまです。また、大津勘橋下からビーチへ流れ込む水でビーチの砂丘が削られる。ビーチ保存のために整備はできないか伺う。

【答／町長】奄美群島国立公園第2種特別地域にも該当しますので環境省の意見等をいただきながら検討して参りたいと思います。

企業誘致について

【問】少子高齢化と人口減少により農業・漁業・商工業・観光業等の人手不足や関係人口の減少で事業の衰退が心配されます。外部からの投資で企業誘致を図ることで人口増が望まれる1つの方法と思われます。企業誘致について伺う。

①農業関係で企業誘致の考えは。

【答／町長】地元産品の流通、販売の拡大、地元雇用の増加や活性化も見込まれるので、機会を捉え、取り組んでまいります。

②商工業関係で企業誘致の考えは。

【答／町長】令和2年3月に知名町企業立地等促進条例を制定し、助成措置及び誘致を促進し、事業所を移転する相談を受けているところです。

③観光業関係で企業誘致の考えは。

【答／町長】地域の観光関連事業者の意見を踏まえながら企業誘致に取り組むこと、住民の理解を得ることなどを考えております。



集水池裏のガードレール設置について

町長／ガードレール設置を早急に検討

西 吉信 議員



動画配信はこちら

第一住吉集水池裏の安全対策について

【問】第一住吉集水池裏の道路は、路肩と集水池との間に高低差があり、危険なため対策が必要だと考えます。ガードレールなどの安全対策についてどう対応するのか。

【答／町長】ご指摘の第一住吉集水池裏の道路については、路肩と集水池との間かなりの高低差が確認されたため、ガードレールの設置を含めた安全対策について、早急に検討してまいります。

旧幼稚園跡の再利用について

【答／町長】ご質問の施設についてまず、旧田皆幼稚園については、放課後児童クラブとして利用するため令和2年度に町で改修工事を行い、同年度、社会福祉法人幸福福祉会を指定管理者として、その運用を開始しております。次に、旧上城幼稚園については、学校敷地内に位置することから、上城小学校の物置として使用されております。最後に、旧住吉幼稚園については、平成28年6月からNPO法人おきえらぶ子どもリハビリサポートセンターが使用しております。

【問】②園舎内を改築して町営住宅として活用できないか。

【答／町長】旧住吉幼稚園、旧上城幼稚園ともにすでに47年が経過しております。町営住宅として供給するためには耐震性の確保を第一として、劣化の改善及び良好な生活環境を確保するための工事が必要になります。

住吉貝塚の進捗率について

【問】①平成13年に確認調査を実施し、住居跡や土器や瓦器などが多数出土しましたが町としてどのような認識を持っているか。

【答／教育長】住吉貝塚については縄文時代後期から弥生時代初期にかけて出土した遺物や島外との交流を示す遺物など南西諸島における先史時代の歴史を知る上で貴重な成果で



旧上城幼稚園

あると認識しております。
【問】②整備に向けたこれまでの経緯と協議内容について伺う。
③調査からすでに23年経過しているが、現在の進捗状況と着工予定はいつ頃を計画しているか。

【答／教育長】平成19年度の国指定の取り組みとして、はじめに平成20年度から21年度の住吉貝塚買上事業において、史跡指定地の公有化をしました。平成22年度から23年度にかけて整備検討委員会を設置しました。史跡の整備をするにあたり、今後とも関係機関と連携し、段階的に進めていきます。



多くの遺物が出土した住吉貝塚



第一住吉集水池裏の道路



旧役場庁舎エリアの利活用可能性は

町長／国交省や町のホームページで公表予定

高風 勝一郎 議員



動画配信はこちら

部活動地域移行の取り組みについて

【問】ブラスバンドや吹奏楽部の民間指導者が見つからず、学校の担当に指導負担がかかっている状況のなか、今後、学校担当の指導者不在になる可能性もあり離島が抱える問題と考える。オンラインレッスン、現地訪問指導や成果発表等を行いながら児童生徒が継続的に音楽活動できるように事業の取り組みができないか。昨年9月議会で前向きな答弁をいただいたが、その後の状況を伺う。

【答／教育長】音楽の地域指導者について、この2年間発掘に努めたが確保できていない状況です。また県へオンライン等での事業を問合せましたが、顧問が現場にいない状況は生徒の安全管理の観点から難しいとの回答でした。今後、他の自治体の取組みなど情報収集を継続していきます。近年、知名中・和泊中・城ヶ丘中の音楽部では合同での活動も多くあり、今後、和泊町と連携で地域指導者の確保ができないか等早

期に両町教育委員会で協議し、部活動の地域移行・地域連携に努めたい。

旧役場庁舎およびその周辺エリア等の利活用可能性について

【問】①昨年9月議会で質問した国交省・先導的官民連携支援事業の調査報告書内容および今後の利活用可能性を伺う。(旧役場庁舎・旧地域包括支援センター・旧中央公民館エリア)②商店街との可能性を伺う。③旧長寿園・旧保健センターの利活用可能性を伺う。

【答／町長】①まず現状の課題等の整理や地域資源の調査を行い、その中で、より現実的で具体性のある調査結果とするため、旧庁舎周辺エリアを本事業の優先検討箇所とした。その後、町内や島外事業者とのヒアリングや意向調査等を行い、施設に入るソフト事業案、運用後のコスト試算、官民連携での手法・運用形態が効果的か等について現在、最終報告書をまとめている段階です。国交省へ提出後、町や国交省の各ホーム

ページで公表予定です。②事業者ヒアリングや本事業で検討されていますが、商店街は民有施設がほとんどですので、本事業とは間接的な利活用方法等を検討したい。③旧長寿園は、事業者の内覧視察で評価や提案等をいただいたので、継続して利活用の検討を行いたい。旧保健センターは、事業者から利用について問合せを受けている段階です。



早急な利活用計画が望まれる旧役場庁舎

役場職員数減少の対策について

【問】職員数が令和5年度当初147名、令和6年度当初138名(9

名減)、令和7年度当初予定134名(13名減)とのこと。このままでは行政サービスの低下、一人の担当業務の増加、職場雰囲気悪化等を懸念するが、今後の対策を伺う。

【答／町長】次の対策を目指します。①デジタル技術を積極的に導入し事務処理の簡素化・迅速化を図り、またAI等の最新技術を活用し定型業務の自動化を進め業務負担を軽減します。②課の統廃合や時代の変化に合わせ行政組織全体の役割・機能を見直し、各部門間の連携強化を図り無駄な作業を削減するなど業務の効率化を図ります。③職員採用試験受験資格の緩和や試験内容を見直し多様な人材確保を目指し、地域おこし協力隊や地域活性化企業人の制度で専門人材の確保を行います。以上の取り組みを積極的に取り入れ、職員のワークライフバランスを進めながら能力を最大限に発揮し、質の高い行政サービスを提供できる体制を構築します。



町の観光地づくりについて

町長／地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源の推進

川畑 光男 議員



動画配信はこちら

【問】魅力ある観光地づくりの一環として、昇竜洞・田皆岬では観光施設の立体的な繋がりを強化する整備をどのように行うか伺う。

【答／町長】魅力ある観光地づくり事業は、観光客の満足度と回遊性を高めるため、地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かし、にぎわいや憩いの空間の創出、沿道修景等の景観整備を行い、広域観光ルートとの癒しの観光地として推進していくところです。

【問】島の伝統芸能品である芭蕉布を絶やさなため、芭蕉布会館の存続の検討は。今後どのように携わっていくか伺う。

【答／町長】長谷川氏に芭蕉布工房の未来像、保存・継承のための具体的な方策、そして地域産業としての発展可能について、十分に協議していただき検討していく方針です。

【問】観光道しるべ再編事業では、一部破損箇所が見られ、観光客に不便をきたしていることから、デザインを一新し、より分かりやすい道しる

べで観光客の流動化と利便性の向上に向け、今後の計画はどのようになっているか伺う。

【答／町長】観光案内道標については、経年劣化等により、一部破損し機能性の低下や周辺の景観を損なう事が確認されているため、奄美交付金を活用するかたちで、本年度内に工事完了する予定です。

地域学校の設備について

【問】小米防災センターにおいて階段及び建物にひび割れや爆裂が発生し、非常に危険な状態である。通路の近隣に位置しているため、早急な対応ができないか伺う。



小米防災センター



小米防災センターフェンス

【答／町長】放課後児童クラブ側の落下の場所はバリケードを設置し、爆裂箇所の補修及び落下防止のネット張りは年度内に完了を予定しています。

【問】小米防災センター横の擁壁上のフェンスが破損し、危険な状態で早急な補修ができないか伺う。

【答／町長】早急な対応をしていきます。

道路整備について

【問】瀬利覚ハジロ窪線において道路の陥没、路肩の傾きがあり非常に危険な状態で、早急な対応ができないか伺う。

【答／町長】瀬利覚ハジロ窪線の陥没路肩の傾きについては、通行車両や歩行者の安全確保のため、路肩の傾きにつきましては、補修方法などを検討し対策を行っていきたくと考えております。



下平川小学校渡り廊下の建設について

教育長／優先順位等を鑑みて、計画を見合わせているところであります

福川 勝久 議員



動画配信はこちら

【問】事業の実施時期や予算の見通しについて、現時点での方針をお聞かせください。

【答／教育長】渡り廊下の建設については、今年度実施のバリアフリー改修工事を含むことができないか、検討を行いました。補助事業の対象外であり、実現することはできませんでした。現在、教育委員会に於いては、令和12年度まで、各学校の予防改修工事、バリアフリー改修工事、教員住宅建設工事などの大型工事を切れ目なく予定しております。今のところ、本件に対応するための補助事業がなく、単費で多額の費用がかかる見込みの渡り廊下の建設につきましても、優先順位等も鑑みて、計画を見合わせているところであります。そのため、具体的な実施時期や予算の見通しについては未定となっております。また、その状況につきましても、下平川小学校長へも共有させていただいております。教育委員会としては、今後も財政状況を踏まえつつ、学校との連携を図

り、学校施設の維持管理、改善に努めてまいります。

教育、学力の質について

【問】ICTを活用した学習が、子どもたちの学力向上にどの程度寄与しているか、また具体的な成果はどのように把握しているのか。

【答／教育長】学習の成果については、全国学力・学習状況調査において、5年生までの学習の中でパソコン・タブレットなどのICT機器を活用することについて、「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」等の設問に対し、どれくらい当てはまるかという回答状況により確認することができま

す。この設問に對しましては、本町の96%以上の児童生徒が「とてもそう思う」「そう思う」を選んでおります。これは、県や全国と比べましても高い結果であり、学習理解に役立っていると感じていることが分かります。つまり、学習指導要領に示されている資質・能力の三つの柱

のうち「学びに向かう力、人間性等」の育成に寄与しているものと考えております。

GIGA スクール構想の実現へ

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」
多様な子供たちを一人一人が育つこと。子供たち一人一人が公正に差別なく学び、資質・能力を一層確立し、成長できる教育ICT環境の実現へ。



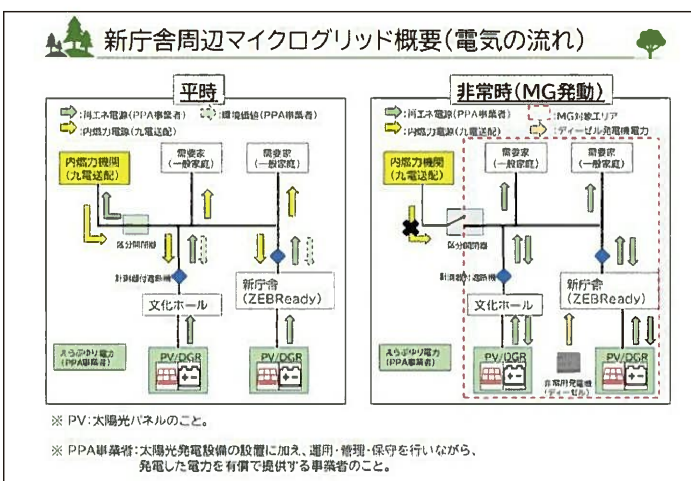
文部科学省

ゼロカーボンアイランド おきのえらぶ事業について

【問】本事業の計画期間は令和9年までとされていますが、現時点での進捗を踏まえ、当初掲げられた目標が達成できるのか。

【答／町長】「ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業」は第1回目の脱炭素先行地域として選定され、令和4年度から令和9年度を期間として各種事業に取り組んで参りました。令和4年度に九州電力送配電、関係

企業と検討したところ、技術面及び制度面で課題が判明したため、新たな離島モデルとなるべく事業計画の変更を行っておりますが、その後本年度まで事業計画にそった施設整備が進められており、引き続き目標の達成に向けて事業を推進してまいります。



令和7年第1回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
報告第1号	知名町水道事業経営戦略について	
議案第8号	知名町庁舎建設基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第9号	令和6年度知名町一般会計補正予算（第7号）について	原案可決
議案第10号	令和6年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第11号	令和6年度知名町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第12号	令和6年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第13号	令和6年度知名町水道事業会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第14号	令和6年度知名町下水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第15号	知名町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第16号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第17号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第19号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第20号	第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第21号	知名町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第22号	知名町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第23号	デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決
議案第24号	知名町光ブロードバンドサービス施設の設置条例及び知名町光ブロードバンドサービス分担金徴収条例を廃止する条例について	原案可決
議案第25号	知名町消防団条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案第26号	知名町フローラルパークの指定管理者の指定について	原案可決
議案第27号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決
議案第28号	固定資産評価員同補助員に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第29号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第30号	知名町老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第31号	知名町認定こども園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第32号	田皆放課後児童クラブの指定管理者の指定について	原案可決
議案第33号	知名町道路線の廃止について	可決
議案第34号	知名町道路線の認定について	可決
議案第35号	令和7年度知名町一般会計当初予算について	原案可決
議案第36号	令和7年度知名町国民健康保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第37号	令和7年度知名町介護保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第38号	令和7年度知名町後期高齢者医療特別会計当初予算について	原案可決
議案第39号	令和7年度知名町奨学資金特別会計当初予算について	原案可決
議案第40号	令和7年度知名町土地改良事業換地清算特別会計当初予算について	原案可決
議案第41号	令和7年度知名町水道事業会計当初予算について	原案可決
議案第42号	令和7年度知名町下水道事業会計当初予算について	原案可決
陳情第1号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について	採択
発委第3号	持続可能な学校の実現をめざす意見書について	原案可決
発議第1号	議員派遣の件について	決定
決定第1号	閉会中の継続調査の件について	決定
決定第2号	閉会中の継続調査の件について	決定

2024/12/10
~2025/3/3

議会の動き

12月

1月

- 10(火) ■ 第4回議会定例会(議会議事堂)
11(水) ■ 第4回議会定例会(議会議事堂)
12(木) ■ 議会改革推進会議(議会委員会室)
17(火) ■ 第4回議会定例会(議会議事堂)
令和6年第1回沖永良部バス企業団議会臨時会(和泊町議会議員控室)
令和6年第3回沖永良部バス企業団議会定例会(和泊町議会議事堂)
令和6年沖永良部与論地区広域事務組合議会
第2回定例会(和泊町議会議事堂)
22(日) ■ 全国沖洲会連絡協議会(沖縄県)
沖縄沖洲会創立100周年記念式典(沖縄県)

- 2(火) ■ 町内一周駅伝競走大会(町内)
金刀比羅宮新春祭(はみやま神社)
二十歳のつどい(あしびの郷ちな)
10(金) ■ 議会改革推進会議(議会委員会室)
例月監査(監査室)
令和6年第3回沖永良部地域公共交通活性化協議会大会議室
11(土) ■ 令和7年知名町消防出初式(知名漁港)
14(火) ■ 令和7年第1回臨時議会(議会議事堂)
令和6年度九州沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会(宮崎観光ホテル)
20(月) ■ 正副議長研修会(奄美市)
21(火) ■ 新議員研修会(奄美市)
27(月) ■ 所管事務調査(日置市)
28(火) ■ 所管事務調査(日置市)
鹿兒島県町村議会議長会第4回理事会議員研修会(鹿兒島市)
29(水) ■ 大島郡町村監査委員協議会総会及び研修会(瀬戸内町)
役員政務調査(熊本県)
30(木) ■ 令和6年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会・交流会(那覇市)
31(金) ■ 令和6年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会・交流会(名護市)
令和6年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会・交流会(名護市)

2月

3月

- 1(土) ■ 沖永良部のばいしょ「春のささやき」かごしまブランド産地指定
30周年記念大会開催要領(和泊町防災拠点施設やすらぎ館)
4(火) ■ 令和7年沖永良部与論地区広域事務組合議会
第1回臨時会(和泊町議会 議事室)
5(水) ■ 全国町村議会議長会特別表彰(東京都)
6(木) ■ 令和6年度第2回全国離島振興市町村議会議長会総会オンライン
西日本コーヒー商工組合・他関係者との懇親会(おきえらぶフローラルホテル)
10(月) ■ 令和6年度第3回知名町上下水道事業運営委員会(大会議室)
令和6年第2回知名町子ども・子育て会議(大会議室)
12(水) ■ 知名町港湾整備促進委員会(大会議室)
フローラルホテル役員会(おきえらぶフローラルホテル)
例月監査(監査室)
13(木) ■ 備品監査(町内)
14(金) ■ 備品監査(町内)
15(土) ■ 令和6年度知名の子表彰及び島唄・島ムニ大会(あしびの郷ちな)
16(日) ■ 龍郷町町政施行50周年前夜祭(龍郷町)
17(月) ■ 龍郷町町政施行50周年記念式典・祝賀会(龍郷町)
18(火) ■ 産業フェア実行委員会(大会議室)
勉強会(議会委員会室)
20(木) ■ 鹿兒島県町村監査委員協議会定期総会及び
監査委員・補助職員研修会(鹿兒島市)
21(金) ■ 鹿兒島県町村議会議長会定期総会
鹿兒島県離島振興町村議会議長会定期総会(鹿兒島市)
25(火) ■ 国民健康保険運営協議会(大会議室)
議会運営委員会(議長室)
26(水) ■ 全員協議会(議会委員会室)
令和7年度知名町奨学生推薦会(議会委員会室)

- 1(金) ■ 市町村長・議会議長合同会(奄美市)
3(月) ■ 沖永良部高等学校卒業式(沖永良部高等学校)